

第41回国労東海本部定期大会

書記長集約特集号



国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都区新橋5・15・5
交通ビル7階
発行責任者 渡邊和久
編集責任者 教宣部長

第41回

国労東海本部定期大会

書記長集約

今大会において、5名の代議員から、職場等での発言がありました。

「組織強化・拡大」

まず、1点目に、国労の最重要課題である組織の強化拡大についてです。

東海本部は第41回定期大会以降組織拡大は実現出来ませんでした。

この間、ホームページ、TSUNAGU等を活用し国労運動が見えるように広げてまいりました。また、賃金アンケートや労働協約間アンケート等の調査について要求集約をネットで行えるように試行錯誤しながら取り組んできています。

職場における組合掲示板は組合員人数の減少により撤去が進んでいます。国労東海本部ホームページや情報発信アプリ「TSUNAGU」等を活用し時代に合わせた取り組みを引き続き進めてまいりたいと思います。

各地方では組織人員の減少に伴い機関運営が大変厳しくなっていると思います。東海本部として、

組織検討委員会を立ち上げ議論を開始しました。
現状を見据え地方の声を聴きながら地方本部の再編等を含め、引き続き議論をしていきたいと考えています。

「労働条件改善、安全・安心な鉄道・

安全・安心な鉄道・

次に、労働条件改善、安全・公共交通を守る闘いについて」
公共交通安全を守る闘いについて」
次は、労働条件改善、安全・公共交通を守る闘いについてです。

現在JR各社では人口減少・少子化を想定し、各職場では機械化・システム化による効率化が進んでいます。

JR東海では、静岡地区においてもお客様サポートシステムの運用が開始され、来年度には御殿場線全線にも導入が決定しています。

この間、利用者アンケートの回答にもあるように割引切符が購入できない、今まで購入できた新幹線のきっぷや定期券が購入できない、駅員がいる駅までわざわざ出向かなければいけないといった意見が寄せられています。

サポートシステム導入により始発から終電まで今まできっぷの購入ができなかったものが購入できるとし、利便性は向上している。利用客や自治体からのご意見もなく問題なく推移していると会社は述べています。さらに、駅で働く社員は大駅に要員が集中し、中間駅では要員ギリギリで働き、誰かが休め

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

No.1 アフラック
がん保険
契約件数
※社内外の保険会社を比較し、アフラックが最も多い(2024年3月時点)



(募集代理店)アフラックは代理店制度を採用しています

アヘール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

(引渡保険会社)

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1 新宿三井ビル20階
Tel.03-6395-9829

ば大幅な勤務変更が発生したりしています。
在来線の乗務員についても特に車掌において同様の問題が発生しています。
この間、国労は要員については交渉の中でも要員増を強く訴えてきていたところですが、各職場の要員は会社が責任をもって配置しているという態度に会社は終始しています。
輸送障害も多発しており、グループ会社を含め労災の発生などが報告されています。事故の原因については、様々な要因がありますが、背景として無理な合理化や人員不足があるのではないかと国労は考えています。引き続き、各職場の適正人員の開示と要員増を求めて行きたいと考えます。

【27春闘について】

3点目に27春闘についてですが、大阪万博終了後大幅な収入減が見込まれましたが、インバウンドが好調なことなどもあり第1四半期決算は増収・減益の決算となっています。社員の努力に報いるために、しっかりと社員に還元させるように主張をしていかなければならないと思っています。

27春闘においては5年連続のベア獲得、期末手当の満額回答・併せて労働条件改善に向け奮闘していかなければなりません。

27春闘の闘い方については来年の中央委員会での方針が決定次第東海本部委員会で提案していきたいと考えています。春闘時の国労東海本部貨物総行動は静岡総合鉄道部前で開催しました。貨物協・名古屋・静岡両地本・共闘の仲間約40名弱の仲間に参加していただきました。東海本部として、27春闘でも客貨一体となった行動を取り組み、東海貨物協・全貨協と連携を取りながら、貨物会社が抱える安全・要員問題、65歳定年制、人事評価制度における業務評価の見直し、昇格昇給基準における受験資格及び試験内容の見直し等のJR貨物が抱える問題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、JR及び関連企業で働く労働者の賃上げや労働条件の向上を目指して取り組みを強化し、併せて組織強化拡大を目指したいと思っています。



題、65歳定年制、人事評価制度における業務評価の見直し、昇格昇給基準における受験資格及び試験内容の見直し等のJR貨物が抱える問題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、JR及び関連企業で働く労働者の賃上げや労働条件の向上を目指して取り組みを強化し、併せて組織強化拡大を目指したいと思っています。

【政治革新、憲法改悪阻止、平和と民主主義を守る闘い】

4点目に、平和と民主主義を守る闘いであります。今なお世界各地で戦争や紛争により、多くの罪のない市民が犠牲になっています。

日本政府に求められていることは、戦争をする国づくりではなく外交・対話による平和的解決です。



しかし武器輸出三原則の見直しや膨大化する防衛費など戦争ができる国づくりを確実に進めています。自民党は憲法改正についても主張を強めています。

平和を求める運動は、共闘組織との連携も重要であり取り組んでいかなければなりません。

最後に、組合員の減少に歯止めがかからず、組織としての存続の危機ではありますが、第95回全国大会で岩元書記長が述べていたように、国労運動を引き継ぎ、残すことが重要であり、職場の課題に向き合う労働組合をJR世代は求めていると私も考えます。

そのことを意識し、闘いを作り上げ組織拡大につなげることを最後にお願ひして、第41回国労東海本部定期大会書記長集約とさせていただきます。

共に頑張りましょう。

第41回 国労東海本部定期大会

書記長 渡邊 和久

新執行部体制

執行委員長 渡邊 和久

執行副委員長 木村 智之

書記長 高木 亨

執行委員 浦田 浩幸

宮坂 勉

竹井 陽一

西川 哲英

小川 敏弘

中嶋 元

寺崎 浩